

ワクワクが止まらない！さんれいフーズ社内報

月刊

フラット！

11号

2025.10

特集

BIG JAMBOREE 2025 Report!

大山Gビール
World Beer Awards 2025
世界一受賞!!

〈SANREI TOPICS〉

秋・冬商材展示会 2025
まつえ土曜夜市に協賛
製造部 マネジメント研修

〈経営層に聞く！さんれいフーズの未来〉
執行役員 角田 哲也

〈トツゲキ!となりの○○さん〉

物流部 広域物流グループ 安来CS 主事
藤原 敏雄さん

〈拠点だより〉

米子支店 新支店長に聞きました！



グループ全体の
人数に驚きました…
普段会えない方にも
会えて楽しかった
です！

社員の前で
太鼓の達人！
松江互社会の応援も
頼もしかったです。



自分の子どもの
作品と撮ってもらい
ました！子どもたち
の考える未来がとて
も素敵でした！



選べるお弁当は
ラバンの弁当でした。
特にローストビーフ
が美味しかったです。



豊岡から
はるばる！3時間
半かけて来ました
よ～！



10年ぶりの一大イベント！ BIG JAMBOREE 2025 Report!

9月9日に開催された BIG JAMBOREE 2025 には、1,200名を超える山陰酸素グループの社員が参加。「感動」の裏側からイベント内容までレポートします！



イルナスサイトは、お客様にとって安心して購入でき、日々の食卓をより豊かにする存在を目指す吉村主事。

多くの方へ食で幸せを届ける「さんれいフーズ」に魅力を感じ、2019年に入社しました。入社当初は、水産品特販課に配属され、業務を通じて開発するだけでなく商品の魅力を伝え、お客様に届ける営業職の面白さを肌で感じました。2021年から育児休業を取り、2023年に職場復帰。復帰後は立ち上げ段階の「楽天市場」出店業務、現在は第3事業部で通販・楽天市場の運営を担当しています。ECサイトの立ち上げは「0から1を創り上げる」大変さと喜びを実感しました。今度は「1を2へと成長させる段階」に直面していますが、SNSを駆使して外部流入を強化するなど、業務に励んでいます。

私の矜持とは「食を通じて人を笑顔にしたい」という情熱を忘れず、前向きに、誠実に取り組むことです。皆さまにもあるそれぞれの矜持を持ち寄り、山陰酸素グループの未来を共に創っていきましょう！

私の「存在意義」と「矜持」



第3事業部 主事
吉村 萌菜美

グループ社員次世代スピーチ
食品グループ代表



ふわっとくちどけデリシュー試食
鳥取ファクトリーで製造されている試作品「ふわっとくちどけデリシュー」。カニとチキン2種類の試食を準備し、多くのグループ社員に食べ比べを楽しんでいただきました。



ドリンク試飲
当社オススのドリンクを試飲できるコーナーでは、商品部の塚本主査が商品特徴などを紹介。ブース来場者はジュースやノンアルコールドリンクを飲み比べました。



病院・介護施設で利用されるソフト食の試食
素材本来の味を感じられる「プチトマトゼリー」や「鶏肉ムース」をグループ社員に試食していただきました。普段食べる機会がないため、勉強になった社員も多くいたようです。

2025.9.9

本番当日



パブリシティチームが地区会ごとに分かれて受付を担当。グループ社員の名前を確認し、お弁当のチケット付きの名札とイベントのミニパンフレットを渡しました。



選べるお弁当のスタッフとして、安来支店と総務経理部の女性社員がイベントをサポート。名札に付いているチケットと交換してお弁当を配布しました。皆さんは希望のお弁当になりましたか？



機材の運搬
プログラム進行の舞台裏では、グループイベントチームが主体となり、機材の運搬や登壇者の誘導などを行いました。予期せぬハプニングにも連携を取りながら対応していました。

展示(食品グループ)
& 食事チーム担当



境港工場
松尾副参事

テーマ企画 &
食事チーム担当

米子支店
大畑主査

BIG JAMBOREE2025にはテーマ企画と食事チームとして携わりました。テーマ企画チームでは感動ストーリーの制作、食事チームでは弁当依頼先の選定から当日の配布までの一連の流れを他のスタッフと協力して行いました。今回は「選べるお弁当」というテーマだったので候補先の選定に苦労しましたが、皆さまに満足いただけたのではないかと思います。準備期間が長く実行委員は大変でしたが、なかなか良い機会でした！ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました！！

無事に開催され、終えることができホッとしています。2024年6月からメンバーとして活動し、あつという間の1年3か月でした。私は展示チーム(食品グループのコーナー担当)と食事チームとして携わりました。食品グループの展示は、周りの方々のご協力があったり、遂げる事ができました。また、子どもたちが描く「未来予想図」のモニタメントも素晴らしいものが完成しました！皆さまのご協力があったBIG JAMBOREE2025だったと感じています。この経験を今後に活かしていきます。

13:00

全体・各チーム打ち合わせ



BIG JAMBOREE 実行委員会のほか、グループプロジェクト*メンバーや会場近くで働く社員が集まり、担当振り分けや当日の動きの確認など入念な打ち合わせを行いました。

14:00

展示コーナー設営



開催前日はお弁当コーナーと展示コーナーの準備に携わりましたが、色々なトラブルが発生(笑)。それでも、皆と相談しながら作り上げていく感じが学生時代のように楽しかったです！



商品開発部 久光副参事

*グループプロジェクト：山陰酸素グループ各社の社員で構成された5つのチーム。BIG JAMBOREEではパブリシティチーム・グループイベントチームのメンバーがスタッフとして参加しました。

密着！

感動の舞台裏

2025.9.8

本番前日

BIG JAMBOREE2025 はなんと1年以上前からプロジェクトが始動！実行委員が主導となり、プログラムの企画・運営を行いました。その集大成の本番前日、会場で着々と準備が進んでいた模様…。

14:00~18:30

リハーサル

プログラムが滞りなく進行するよう、照明・音響・荷物運搬スタッフなどでリハーサルを行いました。進行表にはスムーズにステージの切り替えを行うため、細かくメモが書かれていました。



会場設営

総勢1,200名を超える参加者のイスを並べた後、一つずつ手作業でイスに名札を貼り付けました。明日座る社員のことを考えながら声を掛け合い、作業を進めていました。



▲ 左から久米桜麦酒 益田さん、西山さん、本多さん、岩田工場長、奥主任、高田さん

約28年造り続けてきた定番ビールが、世界でどのくらい評価されるかを確認したく、昨年に引き続き今年もWBAへ挑戦しました。世界最高賞の称号をいただいたパーレーワインは、2004年から毎年タンク1本だけ造り続けてきた思い入れのあるビールです。通常のビールと違いアルコール度数が9%と高く、日本ではまだマイナーなスタイルですが、今回の受賞により多くの人に知ってもらうきっかけに繋がったと感じています。

これまでのスタッフの想いが製品に乗り、それが評価されたことが嬉しいですし、世界のレベルに達しているという評価が、私たちのモチベーションにも繋がっています。また、イベントに出店した際に、お客様や同業者が「おめでとう」と自分のことのように喜んでくれることも大変嬉しく思います。多くの皆さまのおかげと感謝しております。ありがとうございます。今後もビール造りを通じて社会に貢献していくため、一つひとつのビール造りに真摯に取り組む、大山の水を活かした安全・安心・安定した商品造り続けていきます。

28年の思いを込めて 世界へ挑戦



久米桜麦酒 工場長
岩田 秀樹さん



今回のWBA世界一・日本一受賞の反響は大きく、お客様とのコミュニケーションのきっかけに繋がっています。第1事業部に限らず、部署の垣根を越えて第2事業部、第3事業部と会社全体を巻き込み、ブランド力向上に繋がることが期待されます。



パーレーワイン

大山Gビール World Beer Awards 2025 世界一受賞!!



ヴァイツェンボック

世界各地のビールの中から世界一を決定する「World Beer Awards (WBA 2025)」にて大山Gビールが世界一2冠に輝きました。さんれいフーズの大山Gビール販売の取り組みとあわせて、今回の快挙を紹介します。

世界が認めた
大山Gビール
WBA2025で
2冠達成!

イギリスで毎年開催される世界的なコンペティション「World Beer Awards 2025」にて、久米桜麦酒の大山Gビール「ヴァイツェンボック」と「パーレーワイン」が世界一を受賞しました。今年は各国から3000点を超えるビールがエントリー。大山Gビールはヴァイツェン、ピルスナー、スタウト、ヴァイツェンボック、パーレーワインの全5種を出品し、すべてのビールが日本国内予選で日本一となり、日本代表 (country winner) に選ばれました。さらに「パーレーワイン」は、ダークビールカテゴリーで世界最高賞となる「ワールドベスト・ダークビール」に輝き、世界トップ10に選出される快挙を成し遂げました。2011年のヴァイツェン世界一受賞以来、2度目の世界一、そして大山Gビール初めての世界最高賞となった今回のWBAは、鳥取から世界へ大山Gビールの味と品質が世界に認められた瞬間です。

営業本部 副本部長 伊藤 哲也 さらに広がる 大山Gビールの魅力

「大山Gビールをもっと広めたい」という思いから、さんれいフーズは地元卸にとどまらない大山Gビールの販売を展開しています。きっかけは1年半ほど前、ザ・プリンス パークタワー東京への提案。大山鶏の焼き鳥とセットで販売したいというお客様の意向から、大山繋りの商品販売が実現しました。さらにJ・R西日本へやくものオリジナルラベルビールを提案し、スポット販売から継続的な展開へと広がっています。

今年は「あげ・そげ・ばけびーる」を発売。NHK連続テレビ小説「はけばけ」の放送にあわせて、松江市の「あげ・そげ・ばけ」ロゴマークやキャッチコピーを使用したオリジナルラベルのビールを販売しています。プロジェクトチームを立ち上げ、ラベルデザインやポスターなどの販促物のプロデュースを行う新たな取り組みも行っています。商品のストーリーを伝え、繋がりを広げていく。単なる商品提案だけではない営業活動が新たな販路を築いています。

秋・冬商材展示会2025

9月17日・18日・25日・26日の4日間に渡り、豊岡・鳥取・米子・松江の4会場にて「[we]-being」をテーマに秋・冬商材展示会を開催。出展メーカー86社、4日間で延べ1829名（概算）が来場されました。

今回より展示会システムを刷新。来場時に入場証を発行し営業担当へ通知、ブースでのサンプル依頼や即売品をデータ化して集計可能に。クラウド化によりPC・スマホからリアルタイムに来場状況を確認できるようになりました。

多くのお客様に実際の商品に触れていただき、活発な商談が行われるなど、秋・冬シーズンに向けて有意義な4日間となりました。



▲新しい展示会システム。受付がよりスムーズに。

まつえ土曜夜市に協賛

当社は、8月23日に松江市で開催された「まつえ土曜夜市」に昨年に続き協賛しました。

当日は自社製品のカニクリームコロッケを出品し、会場を訪れた多くのお客様にご賞味いただきました。地域のにぎわいづくりへの貢献となっただけでなく、当社の取引先にとっても来客増・売上拡大に繋がる良い機会となりました。



▲当日は松江支店の社員数名が参加。

経営層に聞く！
さんれいフーズの未来

会社のビジョンを描く経営層から、さんれいフーズの未来像と、社員や会社に対する期待と想いについて語っていただきました。



執行役員

角田 哲也

(営業本部 第2事業部長)

当社のメーカー事業をさらに発展させ、「さんれいフーズブランド」を全国に広く認知・定着させることを目指している。国内調理品事業では新規ルートへの拡販と物量の安定化を進め、国内水産品事業の拡充にも注力。さらに海外ズワイ事業においては販売体制を強化し、さんれいフーズの存在感を高めることに挑んでいる。

地域に根差し、
世界と繋がる食品企業へ

こうした歴史の積み重ねにより、さんれいフーズは今日の強みを築いています。現在のさんれいフーズは、

挑戦の現場から得た、さんれいフーズの強みと教訓

産地に根差した水産加工のノウハウ、冷凍食品メーカーとして培った開発力、そして幅広いお客様に支えられていることが強みです。時代が変わっても「お客様に安全でおいしい食品を届ける」という使命を大切にし、現場での工夫や挑戦を積み重ねてきたことが、今の姿に繋がっています。

私が思い描くさんれいフーズの未来像は「地域に根差しながら世界と繋がる食品企業」として存在感を高めていくことです。山陰から生まれたさんれいフーズが、全国、そしてアジアへと信頼されるブランドに育っていく。その歩みは、働く仲間一人ひとりが持つ力の結集なしには成し得ません。だからこそ皆さんには、仕事を好きになってほしい、好きなことにチャレンジしてほしいと心から願っています。

挑戦を繋ぐ、次の世代へ

最後に皆さんに伝えたいのは、皆さんこそが会社の未来を形づくる主人公だということです。国内外で挑戦を続けた先輩たちや、現在バリバリの現役の皆さんが、困難を乗り越えながら今の基盤を築いてくれました。次の時代は、さらに皆さんの創意工夫と挑戦が歴史を創っていきまします。自分の仕事に誇りを持ち、仲間と共に前を向いて歩んでください。皆さんの力があれば、さんれいフーズは必ず新たな高みへと成長していきますと信じています。

受講者
鳥取ファクトリー
原副参事

仕事は一人では成り立たない！一人ひとりがリーダーシップを発揮し、エンゲージメントを向上させることでより働きやすい職場になると感じました。また相手の意思をよく理解したコミュニケーションが信頼関係の構築に不可欠だと実感。今後の人材育成に活かしていきたいと思っています。

製造部 マネジメント研修

8月29日、製造部の管理職9名を対象にマネジメント研修を実施。研修では、グループで意見交換やワークショップを行い、組織の未来に向けたありがたい姿、自分たちの立場で何をすべきかを考え、共有しました。製造部のエンゲージメント向上や現場社員のレベルアップに向け、管理職のマネジメント力強化と、なんでも言い合える職場づくりを目指しています。



▲朝礼後、チーム単位での打ち合わせ



▲倉庫内の通路ではフォークリフトが行き来しているため声を掛け合い安全第一に作業



▲商品部と日常的に情報共有を図りながら業務を進めている

新・米子支店長に聞きました！

米子支店

拠点
KYOTEN
DAYORI
ダより

#010

普段はなかなか知る機会が少ない他拠点のようすをお伝えします。今回は4月に米子支店長に着任された郷原支店長に米子支店を紹介していただきます！



米子支店
郷原支店長

今まで様々な支店で勤務してきましたが、現在は本社や各部門の集まる米子での業務で、大変な重圧を感じながら業務に励んでおります(笑)。

米子支店は大所帯ならではの特徴があります。マイクを使い全体で朝礼を行った後、各部署・チームで打ち合わせを実施。ピックアップは物流支援や物流サポートの皆さんと連携して出庫・仕分けを進めています。敷地内には物流CS機能、ミートセンターもあり、商品部との連携も密にできるため、品ぞろえも充実しています。

歴代の先輩方の営業努力と品ぞろえの安心感で地元企業からの信頼も厚く、高いシェアを誇る得意先が多数あるのも特徴です。今後もその信頼に応え、会社全体の成長に貢献する支店を目指してまいります。



応募締切：2025年
10/31(金)まで！
※毎月1人3通まで

応募はこちら！



1名様

今月の
プレゼント！

久米桜麦酒
大山Gビール
ウエストコースト
IPA(3本セット)

アメリカ産二条大麦麦芽を使用したクリーンで爽快な飲み口。アメリカンホップのシトラシーな香りとインパクトのある苦味が◎

今回のフラット！はいかがでしたか？
フラット！をもっと面白く！
あなたの声、聞かせてください！
今月のフラットにはワクワクがありましたか？
「この企画よかったー」「こんな企画やってほしい！」そんな感想や企画アイデアを募集しています！ご協力いただいた方の中から抽選でプレゼントを進呈します！

フラット！
感想・企画
募集中！



フラット！編集



vol.012 さんれいフーズ
社員インタビュー

トツゲキ！
となりの
藤原さん

物流部 広域物流グループ
安来CS 主事
2022年 入社

藤原 敏雄さん

■藤原さんの仕事

安来CSは安来工場で使用する原料と安来工場の製品を一時的に保管する倉庫です。私は主に原料の入庫作業と原料庫の管理、製品のしまい込みを行っています。原料庫は広いわけではなく、倉庫いっぱい原料が届くこともあり整理するのが大変ですが、パズルのような感覚で工夫をしながら上手に入庫できた時は達成感を覚えます。大変な状況であればあるほど「何とかしてやるう」と感じますし、毎日が新鮮であるという間に1日が終わります。

■1日のスケジュール

朝7時に倉庫内の製品を整理することから1日は始まります。安来工場の2直リフト担当者が夜のうちに製品を倉庫に置いてくれるので、リレー形式で製品を棚にしまい込みます。8時30分までに原料を安来工場へ出庫した後、境港FAZへ製品を運搬するトラックに製品を積み込みます。9時から夕方までは原料の入庫作業と製品のしまい込みの往復です。原料を運搬するトラックの来るタイミングは決まっていないので、一度に5台ほど来ることもあります。3〜4時間連続でフォークリフトを操縦していることもあります。3〜4時間連続でフォークリフトの資格は以前から持っていました。入社してから毎日走り回らううちに操縦も上手くなりました。

■心がけていること

お客様の口に入る製品を取り扱って

いるので、原料の入庫・製品のしまい込みの時は厳重にチェックを行います。箱に傷・汚れ・へこみはないか、賞味期限や製品番号はちゃんのこと、パレットの積み方もしっかり確認し、製品が無事に出荷されるように気を配っています。

■職場の雰囲気

米子の物流部にいた時から感じていましたが、にぎやかな部署だなと感じています。仕事で悩んだ時は上司に相談して、アドバイスをもらうこともあります。雰囲気は良く、のびのびと仕事ができると思っています。

■今後の目標

一連の流れが自分一人で行えるようになりたいと思っています。今後はフォークリフトの操縦だけでなく、パソコンでの出庫作業もマスターしたいです。一緒に働く皆の手も少しは楽になるかなと思います。

■藤原さんのオフタイム！

【ドライブ】週末は親孝行も兼ねて、家族でドライブをすることが多いです。特に道の駅を巡ることが好きで、最近は広島県の「道の駅たかの」や「道の駅世羅」に行きました。たかのは野菜がとても安く売られていたので、たくさん購入しました！





Genstagram_sanrei

...



#BIG JAMBOREE #電動キックボード #さんれいフーズ

並河 元の日々の写真からとっておきをチョイス！

Genstagram

先般行われたグループ社員の集い「BIG JAMBOREE 2025」、参加した人も関わった人も大変お疲れ様でした！あいにくの雨模様でしたので、写真の電動キックボードなどの体験エリアが狭くなってしまいましたが、皆さんは体験できましたか？？まだまだ山陰では見かけませんが、鳥取県東部に導入エリアもありますし、今回協力してもらった会社も鳥取市の会社です。今後導入エリアが増えると観光振興にも繋がるのかな、と期待している今日この頃です 🛴

並河 元

さんれいフーズ社内報フラット！11号

発行日 2025年10月15日
 発行者 株式会社さんれいフーズ
 責任者 畠山 広幸
 編集長 下城 良明
 編集 佐野 仁美
 遠藤 有美
 齋尾 海空

デザイン creative company d-magic

[社内報に関するお問い合わせ]

社内報編集チーム

MAIL koho@sanrei-foods.co.jp



株式会社さんれいフーズ

フラット！編集後記

■編集長 下城 良明

皆さん BIG JAMBOREE はいかがでしたでしょうか。今回初参加で受付や食品グループの展示ブースで関わらせていただき、貴重な体験ができたのと、グループ全体の規模を肌で感じた一日でした。

■編集 遠藤 有美

初参加の BIG JAMBOREE! 誌面には一部しか掲載できませんでしたが、実は皆さんの楽しそうな写真がまだまだ山ほどあります…！載せきれなかったオフショットはまたの機会に♪

■編集 佐野 仁美

WBA 結果は Instagram で確認とのこと、少し意外でした。原材料の産地・工場見学、テイスティングが楽しめる大山ブルワリーツアーを実施されますので、ビール好きな方はぜひ！

■編集 齋尾 海空

今回初めて社員インタビューの記事を担当。「自分の業務に誇りを持って仕事をしているし、毎日楽しい！」と聞けたことが印象的でした！他の社員さんの話も聞いてみたいです。